



乙島っ子

令和4年度 NO. 25

令和5年 1月23日 倉敷市立乙島小学校

通学は、おもしろくなくてよい



この言葉は、かつて筆者が勤めていた学校で、当時、通学担当であった同僚教員が児童に語っていた言葉です。

年明け早々、児童の登下校の安全を脅かす不穏なメールが届いたという地域もあり、学校でも、「他山の石」と考え、先週、いくつかの地区の登下校のようすを確認してきました。そうしたところ、「こういう登校をしていたら、万が一のときにも対応できそうだな」と思えた、その言葉通りの班がありました。その班を手本に「安全」を考えます。

写真の班、いずれもスタートから学校に着くまで、だれ一人として一言もおしゃべりをしていません。一見すると全くおもしろくなさそうです。しかし、この集中した姿こそが、「万が一」への対応を可能にすると考えられます。



学年別下校（2年生）

メールを受けても変わりなく…



1/20 避難訓練（侵入者対応）



1/20 警察署職員による指導

メールを受けても、その内容が地域を特定したものではなかったということもあり、本校の下校は何ら変わることはありません。8年前の市内の児童に関わる事件を受けて始めた「学年別下校」が、いつも通り行われました。大切なのは、「『万が一』にどうするか」もそうですが、「『万が一』にも対応できるよう、普段から構えをもっておくこと」であると考えます。下校はまだ課題がありますが、「おもしろくない通学」は、そのことを可能にします。

1月20日（金）には、その「構えをもつ」ことを目的とした「侵入者対応の避難訓練」を実施しました。そこで、もちろん、児童は、「逃げる」ことの具体的な指導を受けましたが、教職員も、児童も、訓練に立ち会った警察署職員から学んだのは、「警察に連絡しましたよ！」「助けて！」などと大声をあげて相手をひるませることでした。



上は、これまで3～6年生で行ってきた「学年別下校」のようすです。先日の文書でもお伝えしました通り、「帰りの会を早々に切り上げざるを得ない」「早く集まった学級の児童の待ち時間が長くなる」などの課題がありました。そこで、保護者、地域による見守り体制が充実してきたこともあり、音楽を流す間、「学級のまとまりで」下校するようにします。

